

リユースの推進

①リユースとは

②リユースの利点

③リユースの仕組み

④舞鶴市の取り組み

⑤今後のリユースの展開

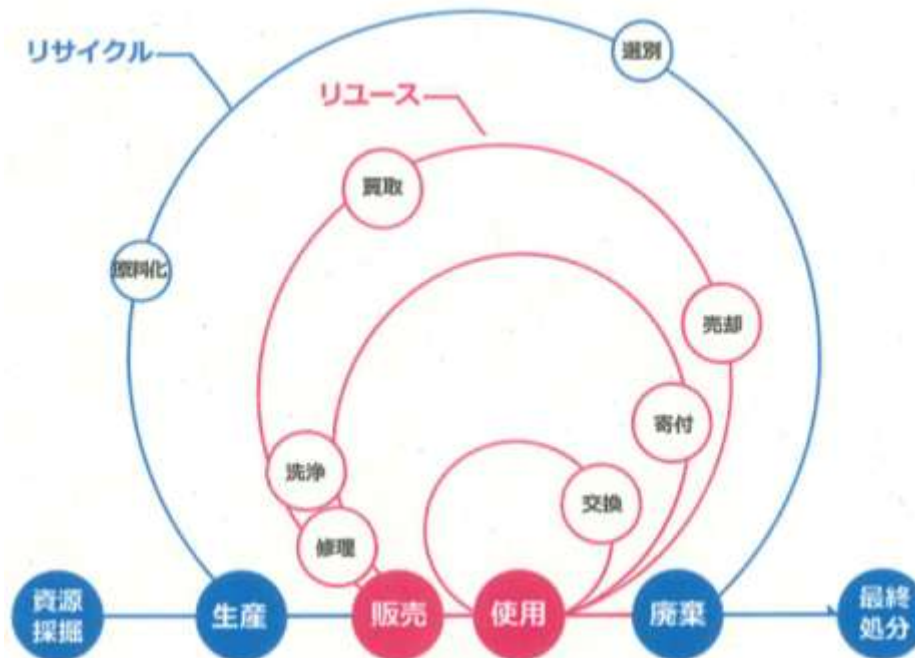
①リユースとは

リユース(再使用)とは

使用しなくなった物のうち有用なものを製品としてそのまま使用すること、または他の製品の一部として使用すること。

「リデュース」 > 「リユース」 > 「リサイクル」

⇒リデュースに次いで優先順位が高く、環境に良い取り組み



②リユースの利点

リユースの利点

- 新たに採掘する天然資源や生産にかかるエネルギーを減らすことができる
- 製品の使用年数が延び、ごみを減らすことができる
- 製品の廃棄・製造にかかるCO₂の削減につながる
- ごみ処理費用の削減

リユースによるCO₂削減効果

リユースによる製品の使用年数延長効果とごみの削減効果



(資料) 環境省「平成 22 年度使用消費品等のリユース促進事業報告書」より作成

(注1) 環境省「平成 22 年度資源循環局等のリユース促進事業報告書」より作成。
 (注2) 製品の製造・使用・廃棄に伴う CO₂ 排出量は製品ごとに異なるため、製品の CO₂ 排出量の削減効果の算出は、製品の製造ごとに算出する必要がある。

③リユースの仕組み

地域でリユース

- ★常設リユーススペース
- ★リユースイベント
- ★リユース掲示板
- ★リユース品ピックアップ

リユースショップでリユース

- ★【店頭】で買い取ってもらう
- ★【自宅】に来てもらい買い取ってもらう
- ★宅配便でお店に送って買い取ってもらう

インターネットでリユース

- ★オークションサイトの利用
- ★スマートフォンを使った「フリマアプリ」の利用

チャリティ(寄付)でリユース

- ★チャリティショップの利用
- ※市民から寄付された衣類や食器などをリユース品として販売し、その利益を途上国支援などの非営利活動に活用する目的で行うもの

④-1 舞鶴市の取り組み

地域でリユース

★子供服の提供(常設スペース)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
提供(人)	267	298	315
持帰り(人)	1,623	1,710	1,801



★リサイクルフリーマーケット(リユースイベント)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
来場者(人)	570	545	516
出店者(人)	49	51	51



★おもちゃ交換会(リユースイベント)

	H27年度 (第1回)	H28年度 (第2回)	H28年度 (第3回)	H29年度 (第4回)	H29年度 (第5回)
来場者数(人)	約220	約200	約500	約300	11/12予定



★ゆずります・もらいます(リユース掲示板)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ゆずります(人)	7	12	12
もらいます(人)	18	26	29

★再生家具の展示(リユース品ピックアップ)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
提供数(点)	823	851	840



⑤-1 今後のリユースの展開

いらなくなったもののリユースとしての引き渡し

家具16% 衣類31% 家電31% ベビー用品34%
携帯・スマホ13% ブランド品35%

★リユースの市場規模(国内最終需要ベース)約3兆1千億円

★リユース品購入(過去1年間)経験者は約3割

まだまだ拡大の
余地あり

① 自宅に眠らせない

★退蔵品(不要になっても捨てずに取っておいているもの)の有効活用

いらなくなった物、使わなくなった物の処分方法として、現在最も多いのは、「リユースショップ」でも「ごみとして処分」でもなく、「自宅・物置に保管」である。(家具で61.2%、ブランド品60.3%、ブランド品除く衣類・服飾品54.6%)

出典:環境省「リユース読本」

⑤-2今後のリユースの展開

②市民が取り組むリユース活動の支援

★フリーマーケットの支援

★リユース、リペアに関する情報発信の提供

京都市ごみ減量推進会議ではリペア・リメイク情報を発信

○修理・リメイクできる店舗の紹介

京都の修理ナビサイト「もっぺん」を開設(H29. 10月の掲載店数198店)

○自分で出来る修理・リメイク講座を開催

○フリーマーケットの開催と併せてリペア・リメイクコーナー
「もっぺん出張所」を開設。

(寄付型)ホンデリング・プロジェクト ～本でひろがる支援の輪～

公益社団法人全国被害者支援ネットワークが実施。本を寄贈して、その売却代金を寄付として、犯罪被害に遭われた方々への支援活動に役立てるプロジェクト。

※古本の集荷・仕分け・査定はプロジェクトパートナーである(株)バリューブックスが行います。

⑤-3 今後のリユースの展開

③ その他(事業所の取り組み)

シャープ株式会社三重工場(三重県)

社員と三重大学生がリユースで提携

不用家電製品や自転車^①を学生が再利用

○社員の家庭で不要となった家電品と自転車を回収し、三重大学に提供。学内に設けられたリユース品の展示コーナーで学生が選択して再利用してもらう。回収する家電品は、生徒から需要のある冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、洗濯機、掃除機、電気ストーブの6品目に限定。

○2011年からの3年間で家電品53台、自転車27台を提供。

出典:環境省「リデュース・リユース取組事例集」

⑤-4今後のリユースの展開

③その他(事業所の取り組み)

舞鶴市教育委員会

閉校小中学校の備品オークション(市民向け入札・即売会)

○平成29年3月3～5日、旧岡田上小学校において統廃合により閉校した小中学校の備品をオークション(入札方式)で販売。

(地球儀や人体模型、黒板、跳び箱、大型そろばん、楽器など)

○児童図書や食器類など10円～500円の少額備品はその場で販売

○来場者数(3日間)【1,316人】

※うち入札参加者【744人】

○出品数【424件】

入札品数【352件】

入札総数【3,533件】

入札総額【1,104,577円】

○即売品販売数【3,138件】

販売額【71,810円】

